

資料 3

西東京市公民館運営審議会
令和4年度第8回定例会議

令和4年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和5年1月25日

NO	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
1	柳沢	教養講座 おもしろい腸の話	11月10日 11月17日 11月24日 木曜日 14時から16時 全3回	延べ104人	<ul style="list-style-type: none"> 胃や腸が食べ物を消化・吸収する働きに加え、消化物の成分を感知する味覚や脳に情報を伝える機能を備えていることを知る機会となった。 グループ学習を通して参加者同士が互いを知るとともに、日頃工夫している食生活について情報交換をする良い機会となった。 	岡 敦子（日本医科大学・名誉教授）
2	田無	子育て中の人のための講座（保育付き） 家族みんなの食育講座	5月24日から 10月4日 火曜日 10時から11時45分 全13回	延べ126人	<ul style="list-style-type: none"> 食についての栄養学を、しっかり学べるように、元中学校の家庭科の講師から基本の指導を受け、望ましい食習慣を身につけるきっかけとなった。 乳幼児から高齢者まで、家族全員の食生活の基礎から順に振り返ることで、自分や孫たちの食生活も含めて学ぶことができた。孫育て世代の参加もあり、多世代で食について学ぶことができた。 保育室に子どもを預けた方に対しては、公民館保育室の意識や取り組みについて説明した。講座最終回では子どもの成長の様子を確認でき、公民館保育について理解を深めることができた。 	中村美穂（管理栄養士、フードコーディネーター、食育インストラクター） 吉田朋子（管理栄養士、エコクッキングナビゲーター、キッズキッチンインストラクター） 本田紀子（管理栄養士、元中学校教員、調理師養成学校講師）

3	田無	田無つながるプロジェクト	6月19日 7月10日 7月31日 日曜日 10時から12時 全3回	延べ34人	<ul style="list-style-type: none"> ・つなぐ3要素「市民と市民がつながる」「団体と団体がつながる」「地域を超えて、市民、団体がつながる」ことを「成功例」ではなく「プロセスを重視した学び」とした。 ・「リニューアルした田無公民館ロビーからスタート」し「2階、3階の学習の場と機会へ」から、「西東京市の地域へ」と広がる展開を考えた。 ・「討議・対話」と「楽しい空間づくり」から生み出される活動を学び、参加者から出されたアイデアをヒントに、田無公民館ロビーに、親子で楽しめるキッズコーナーや、外の歩道を歩く人の目にも留まるショーウィンドウ的ギャラリー田無公民館を、市民ボランティアの協力も得ながら職員の手作りで設置したり、ロビーで行った事業から、壁面水族館を製作したり、田無公民館サークル間での学びのつながりを形にし「対話と笑顔のある公民館」を見える化した 	小笠原東生(日本女子大学非常勤講師) 齋藤尚久(杉並区社会教育主事、立正大学非常勤講師) 村上英己(全国公民館連合会事務局次長) 朝枝晴美(すぎなみ大人塾連) 野嶋京登(浜松市富塚協働センター職員) 山下洋輔(柏まちなかカレッジ学長) 全国で活躍中の公民館や市民団体(第2回・第3回オンライン中継からの交流)
---	----	--------------	---	-------	---	--

4	田無	7月と11月は、田無公民館サークル見学月間です	7月1日（金曜日）から7月31日（日曜日） 11月1日（火曜日）から11月30日（水曜日）	参加団体 延べ65団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員募集中の田無公民館利用団体で該当月に活動のため部屋を予約済みの団体の活動日時に、見学希望の一般市民が事前に連絡した上で見学し、活動を体験した。 ・ 参加団体は事前に全体で集まり自己紹介や団体の活動内容の紹介、コロナによる活動への影響や耐震改修工事閉館中の活動をどうしていたのかなど、現状やお困りごとなどを話し合い、共有した。 ・ 見学月間の翌月には報告書や見学者の感想等を公民館へ提出。また。全参加団体が集まって報告会を行い、団体の感想や意見、見学者の声、その後入会につながったかなどを全体で共有した。 	
5	芝久保	子育て世代も参加できる講座より素敵な生活へのチェンジ～幸せって何？～	6月21日から 10月11日 火曜日 10時から11時45分 全10回	延べ87人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界幸福度第1位のフィンランドの生活様式を知り、フィンランド人が「豊かさ」「幸福」をどのように考えているか、また生活へのチェンジとなると思われるテーマ（環境、人権、平和の問題）から自分は何ができるか、参加者同士情報共有し主体的に考え実践できるような機会となった。 ・ 様々な問題提起やワークを通して意見交換し、自分が大切にしているものに改めて気づき、豊かさについて考える機会になった。 	<p>岩村太郎（恵泉女学園大学名誉教授、元副学長） 石井晴奈（東京外国語大学非常勤講師） 松下元之（漢方養生学研究所、薬剤師） 佐古隆之（日本女子大学家政学部専任講師） 山口真奈美（（一社）日本エシカル推進協議会副会長） 堀越栄子（日本女子大学名誉教授、（一社）日本ケアラー連盟代表理事） 石川文子（NPO法人子ども家庭リソースセンター所属）</p>

6	芝久保	多世代交流講座 五感でアート ～農&美術でコミュニケーション～	10月15日（土曜日） 10月23日（日曜日） 11月6日（日曜日） 10時から12時 全3回	延べ35人	「里芋掘り」や「五感でアート」の体験を通して同じ地域に住む多世代がお互いを知り、交流を深める機会となった。	野菜の濱野（農業経営者） 大野恭裕（臨床美術士） 谷いづ美（臨床美術士）
7	芝久保	第39回芝久保公民館まつり	10月29日（土曜日） 9時30分から16時 10月30日（日曜日） 9時30分から15時	延べ521人	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員形式で企画実施。 ・公民館利用団体の発表の場、地域住民の交流の場として開催。 ・発表の部は5団体、展示の部は14団体、工作等体験の部は3団体（重複あり）の発表があり、計19団体の参加があった。 	<p><公民館主催イベント></p> <p>チカパン（パントマイム公演出演）</p> <p>ハンドベルアンサンブル「クリスタル」（ハンドベルコンサート演奏）</p>
8	芝久保	防災講座 おうち防災のススメ	11月12日 土曜日 14時から16時	16人	アウトドアの知恵を活かした防災術の紹介、および、在宅避難に向けた家庭の備えを検証した。	あんどうりす（アウトドア防災ガイド、FM西東京パーソナリティ）
9	芝久保	子ども体験講座 図形に親しむ	11月13日 日曜日 ①9時30分から10時30分 ②11時30分から12時30分 2回	延べ21人	異年齢で学ぶことにより関心を深める場を提供することができ、立方体の頂点・辺・面を確認して、折り紙で立方体を作ることで興味関心につながる機会になった。	小野健太郎（武蔵野大学教育学部准教授）
10	芝久保	暮らしに役立つ実学講座 食品ロス削減に取り組もう	12月9日 金曜日 10時から12時	6人	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスは生活に関係していることに気付く機会を提供することができ、食品ロスの原因を理解して食品ロス削減の取り組みを考えるきっかけの場になった。 ・西東京市の取り組みを知り、西東京市の取り組みに参加を検討する機会になった。 	野々村真希（東京農業大学食料環境経済学科助教） 西東京市みどり環境部ごみ減量推進課職員 西東京市みどり環境部環境保全課職員

11	芝久保	サロンコンサート ホッとする冬のひとときを音楽とともに	12月17日 土曜日 14時から15時	24人	市内で活動する演奏家の協力のもと、 (旧)西東京市民会館からやって来たコンサートピアノを活用し、身近な公民館で気軽に音楽に親しむ機会を提供した。今回のコンサートはピアノとマリンバのアンサンブルをお届けした。	Sachika (サチカ)
12	谷戸	文章講座 (保育付き) きっと誰かに伝えたい、私だけのストーリーボード	5月19日から 10月19日 木曜日 10時から11時45分 全12回	延べ143人	<ul style="list-style-type: none"> 文章スキルを学び、自分の文章を作ることの繰り返しによって使える手法を増やしていった。 子育て世代の仲間同士作品を聞き合うことで共感することができた。 エッセイ集の作成に全員が参加し、一人2作品に掲載した。 	小川こころ (文筆家・元新聞記者)
13	谷戸	子ども向け自然観察講座 カブトムシが好きな子あつまれ!	6月11日 9月10日 12月10日 土曜日 10時から12時 全3回	延べ35人	<ul style="list-style-type: none"> 本や画像ではなく、西東京いこいの森公園で実際に昆虫や樹木にふれながら学習するとともに自然と関わる楽しさを味わった。 公園にも愛着を感じるよう働きかけた。 	原朋子 (多摩六都科学館パブリックリレーションズグループ) 西東京いこいの森公園を育てる会 雑木林部会 西東京 自然を見つめる会
14	谷戸	暮らしを豊かにする教養講座 音楽×(カケル)平和	①10月23日 (日曜日) ②11月5日 (土曜日) ③11月12日 (土曜日) 14時から16時 3回	延べ75人	<p>①「OKINAWA×音楽」では、三線奏者マーシー豊岡さんをゲストに、音楽学者友利修さんが沖縄の戦後を音楽の証言として振り返った。</p> <p>②「音楽家×平和」では、演奏・作曲・映画の第一線で活躍する住友紀人さんが自身の体験や映像表現との出会いをもとに「音楽すること」の意味を問いかけた。</p> <p>③「音楽×癒し」では、宇宙と身体を調律/調和し心を癒す中世ハープについて小坂理江さんが話し演奏した。</p>	友利 修 (国立音楽大学教授) マーシー富岡 (三線奏者) 住友紀人 (作曲家・演奏家) 住友里奈 (ソプラノ) 小坂理江 (中世ハープ奏者)

15	ひばりが丘	サークル見学・体験会	9月1日（木曜日）から 10月31日（月曜日）	参加団体 11団体 見学者 延べ13人	公民館のサークル活動に興味を持つ市民にサークルの見学や体験の機会を、また、参加サークルに活動紹介と会員募集の機会を、提供した。	
16	ひばりが丘	教養講座 ドキュメンタリー映画作家 佐藤真を知る	9月11日から 11月13日 日曜日 14時から16時 全4回	延べ92人	映画「阿賀に生きる」で知られる佐藤真監督の歩みと創作の姿勢について、講師とゲスト（関係者）の対談や作品鑑賞を通して学んだ。	畠山容平（映画監督） 筒井武文（東京芸大大学院教授） 神谷丹路（佐藤監督の妻） 旗野秀人（「阿賀に生きる」発起人）
17	保谷駅前	高齢者対象講座 私だけの人生ノートづくり	9月30日 10月7日 10月14日 金曜日 14時から16時 全3回	延べ77人	<ul style="list-style-type: none"> ・自分は死をどのような形で迎えたいかリアルに考える機会とすることができた。「自身の死」という具体的な課題について、参加者同士で語り合うことで、今までのタブーや暗いイメージを変えていくことができた。 ・自分に合った医療・介護を「考える」機会とし、近親者にきちんと自分の選択伝えることの大切さを知ることができた。 	安岡厚子（NPO法人サポートハウス年輪理事長） 地域包括支援センター看護職ワーキンググループ 西東京市地域包括ケアシステム推進協議会市民との協働啓発部会
18	保谷駅前	第13回駅前フェスタ2022 ～つなぐ、広がる、笑顔の和～	10月22日（土曜日） 10月23日（日曜日） 10時から16時 【展示】 10月22日（土曜日）から10月28日（金曜日）	延べ638人	<ul style="list-style-type: none"> ・展示と発表を中心に、参加団体が学習成果を活かした様々な催しをおこなった。 ・実行委員会形式で運営し、公民館を拠点として地域住民が交流し学び合う機会となった。 ・発表の部を三年ぶりに開催することができた。 	

19	保谷駅前	環境講座 身近な生き物の生態にクローズアップ 「ナメクジやカラスは好きですか？」	10月27日から 11月24日 木曜日 14時から16時 全4回	延べ80人	<ul style="list-style-type: none"> ・「下保谷四丁目特別緑地保全地区」は、市民ボランティアの支えで成り立っていることを知る機会となった。 ・実生の寄せ植えや自然観察を通して、自然を残す大切さを体験的に学んだ。 ・ナメクジ・カタツムリ・寄生虫・カラスの生態を学ぶことで、ネガティブにとらえがちな生き物にも関心を寄せるきっかけになった。 	高橋いく、高松久子、原貴美子(高橋家屋敷林保存会) 佐々木 洋(プロ・ナチュラルリスト) 脇 司(東邦大学理学部准教授) 松原 始(東京大学総合研究博物館特任准教授)
20	保谷駅前	親子講座 みんなでつくる！駅前演奏会	11月12日(土曜日) 11月23日(水曜日・祝日) 12月11日(日曜日) 14時から16時 全3回	延べ45人	地域で子育て中の音楽愛好者や子同士が垣根を越えてつながり、交流する機会となった。	キャベッツさんwithミックスベジタブル